

一般競争入札(総合評価落札方式)に関する質問及び回答(Q&A)

最終更新日 2022年 8 月 19 日  
独立行政法人情報処理推進機構

件名: 「官公需取引におけるBPRに向けたアーキテクチャ設計支援業務」

項番	資料名	頁番号	項目名	質問内容	回答内容	回答掲載日
1	I. 入札説明書	p. 5	(3) 当方に提供していただく情報	「(1) 公表の対象となる契約先」の「②当機構との間取引高が、総売上又は事業収入3分1以を占めていること」について、弊社は満たしていないため公表の対象にはならないと考えますが、その場合でも「(3)当方に提供していただく情報」に記載の①及び②の情報の提供は必須でしょうか。	IPAにおいて(1)の公表の対象となるかどうかを判断するために、落札者に対しまして(3)の①及び②の情報の提供をお願いしております。	2022年 8月19日
2	Ⅲ. 仕様書	p. 17	4.1 官公需取引の各業務プロセスにおけるシステム仕様及び実務上の課題の把握	「文献調査」については、システム仕様(当該システムで用いられているデータ標準、システム間インターフェイス及びネットワークプロトコルを含む)の把握のための設計書等を指しているとの理解でよろしいでしょうか。 その理解が正しい場合、当該資料は貴機構を通して、対象のシステム運用主体等よりご提供いただける認識でよろしいでしょうか。	文献調査とは、ユーザー向けに公開されている仕様書等の調査を中心に想定しています。 また、非開示のシステム仕様については、請負事業者と当機構等の協議を踏まえて、当機構等がシステム運営主体との間で、入手する資料の範囲や入手方法等に係る調整を実施することを想定しています。	2022年 8月19日
3	Ⅲ. 仕様書	p.19	5.事業の実施体制(7)	定例会議はオンラインでの実施を想定していますが、この想定でよろしいでしょうか。	ご認識のとおり、オンラインでの開催を想定しております。	2022年 8月19日

4	Ⅲ. 仕様書	p.20	7. 納入関連	「※事業の過程で作成したデータ、ヒアリングメモ、入手したデータ、文献、資料等も併せて提出すること。」との要件について、本業務中に発生した全ての資料（ファイル等）が納品対象との理解でよろしいでしょうか。	具体的な納品対象については、請負事業者と当機構等が協議の上、必要な範囲の資料の提出を求めることを想定しております。	2022年 8月19日
5	Ⅳ. 入札資料作成要領	p.28	3.1提案書の構成及び記載事項	上記箇所に記載の提案書目次項番と「Ⅴ. 評価項目一覧」のp.32以降に記載の提案書の目次番号が一致しません。 「Ⅳ. 入札資料作成要領」に記載の提案書目次項番を基に提案書を作成する方針でよろしいでしょうか。	提案書の作成に当たっては、P28の大項目を目次として記載の上、P32「提案要求事項」において対応関係の明記を求めている、各項目については、以下のとおり読替えてください。  P32「提案要求事項」 ・中項目1.1→P28 大項目1 ・中項目1.2→P28 大項目2 ・中項目1.3→P28 大項目3 ・2 組織の経験・能力→P28 大項目4 ・3 業務従事者の経験・能力→P28 大項目5 ・4 ワークライフ・バランス等の推進に関する指標 →P28 大項目6	2022年 8月19日
6	Ⅳ. 入札資料作成要領	p.28	3.1提案書の構成及び記載事項	提案書目次順の組み換えや、目次の追加は可能でしょうか。	提案書目次順の組み換えや目次の追加自体は差支えありません。 他方、P32「提案要求事項」との対応関係を明示することが、技術的な審査対象となる点については御留意ください。	2022年 8月19日

7	IV. 入札資料作成要領	p.28	3.2提案書様式	提案書の様式としてWordやPowerPoint等の指定は特になく認識でよろしいでしょうか。 (PowerPointでの提出を想定しています。)	提案書の様式に特段の指定はございません。	2022年 8月19日
8	IV. 入札資料作成要領	p.28	3.2 提案書様式	提案書のページ数に制限はございますでしょうか。	要求事項を満たしていただければ、ページ数に特段の制限はございません。	2022年 8月19日
9	VII. その他関係資料	p.45	(様式2) 委任状	様式が「入札書等記載例(総合評価落札方式)」の内容と異なりますが、上記ページの様式に準拠する想定でよろしいでしょうか。	ご認識のとおり記載例を参考にいただき、入札説明書に記載の様式2を使用して委任状をご作成ください。	2022年 8月19日
10	VII. その他関係資料	p.46	(様式3) 入札書	様式が「入札書等記載例(総合評価落札方式)」の内容と異なりますが、上記ページの様式に準拠する想定でよろしいでしょうか。	ご認識のとおり記載例を参考にいただき、入札説明書に記載の様式3を使用して入札書をご作成ください。	2022年 8月19日
11	III. 仕様書	p.28	4.1 官公需取引の各業務プロセスにおけるシステム仕様及び実務上の課題の把握	貴機構との間で協議のうえ最終決定したヒアリング先の受注事業者とのアポイントについては、貴機構側で行っていただける認識でよろしいでしょうか。	アポイントの取得は、請負事業者と当機構が協議の上、ヒアリング先ごとに有効なパスを用いて実施することを想定しており、ヒアリング先によっては、請負事業者にアポイントの取得を依頼することは有り得ます。	2022年 8月19日
12	I. 入札説明書	-	-	落札した企業(資本関係にある親会社を含む)に対して、今後、調達(機能追加等)において、何か調達制限が生じることはあるか。	本事業は、当機構が独自に官公需に係るシステム間連携アーキテクチャの改善可能性を検討するものです。 また、当機構として、現時点で本件に後続して官公需関連システム群における調達が予定されているとは承知しておりません。	2022年 8月19日